

にっしん 農業委員会



日進市農業委員会

第 8 号

平成 28 年 2 月 1 日
編集・発行
日進市農業委員会
電話 (0561) 73-2197

だより



担い手育成事業の収穫風景

今後とも皆様の格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

休農地解消モデル事業」に引き続き取り組んでいきたいと考えております。

「食育の推進」や、耕作放棄地を自ら耕作する「遊休農地解消モデル事業」に引き続き取り組んでいきたいと考えております。

今後とも皆様の格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日進市農業委員会
会長 内藤 勝司

日進の「農」を守り、
振興する
―農地を守る― 農業委員会の使命

日頃は、日進市の農業委員会活動に深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。昨年の夏は雨天が多く、農作業や収穫にも影響があったことと思います。また、水稻の一部では出穂期の高温による褐色米の発生も見られました。こうした厳しい環境下でも日々生産にご尽力頂いている皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、国においてはTPPが大筋合意に至り、農産物の関税引き下げや輸入拡大が決定的な状況となり、農業関係者への影響が懸念されているところです。政府の農業政策も保護から競争へと舵を切ろうとしており、わが国の農業は大きな転換期を迎えているものと思います。

このような状況下、農業委員会では、農地の貸し借りを支援するため「農地バンク制度」や「農地中間管理機構」を活用し、農地の有効利用・利用集積を図る活動に取り組むとともに、目に見える活動として、子ども達に農と食の大切さを伝える「食育の推進」や、耕作放棄地を自ら耕作する「遊休農地解消モデル事業」に引き続き取り組んでいきたいと考えております。

多発する獣害への対応と被害補償

市内でイノシシ、アライグマ、ハクビシンなどの獣害が発生しており、被害の実態把握を進めています。農作物への被害を確認されましたら、市役所産業振興課農政振興係へご相談ください。また、農業共済に加入していると被害の一部が補償される場合もありますので、詳しくは愛知県農業共済組合にご相談ください。

今年度の市内の有害鳥獣の捕獲状況：イノシシ 21 頭・アライグマ 2 頭・ハクビシン 1 頭



人里に出没するイノシシ



捕獲されたアライグマ

農地の貸し借りを支援します！

農地が適正に管理されないと、雑草の繁茂・病害虫の発生・不法投棄や火災の危険など、周辺の農業者や住民へ迷惑がかかります。

耕作や管理ができない農地は、地域の担い手に貸し付ける制度がありますので、ぜひ農業委員会事務局にご相談ください。

農地中間管理事業

県に設置された「農地中間管理機構」が農地の中間的受け皿となって、所有者から農地を借り受け、担い手に貸付けます。農地を貸す人は、一定の要件を満たせば機構集積協力金を受けとることができます。平成26年から始まった新しい制度です。

農地バンク制度

農業委員会が農地の貸し手と借り手をつなぐ・仲介する制度です。平成24年の制度開始以降、多くの仲介実績があります。

今年度も産業まつりに出店し、遊休農地を再生させて作ったもち米や野菜を販売しました。売り上げの一部は社会福祉協議会へ寄付しました。



経営とくらしに役立つ情報をお届けします！
農家のための情報誌『全国農業新聞』

◆発行日 週一回（金曜）
◆発行元 全国農業会議所
◆購読料 月700円

お申込は、農業委員会事務局へご連絡ください。

●連絡・相談先 日進市農業委員会（日進市役所産業振興課内農業委員会事務局） 電話：0561—73—2197



この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

日進市農業委員会の取り組み

1 「農地法にもとづく許認可」と「農地利用状況調査」

農業委員会では、毎月委員会を開催し、農地の売買や貸借、転用等の議案審議及び議決をしています。

また、農地パトロールを実施し、市内農地の草生え地・違反転用地を現地確認する利用状況調査を実施しています。

本市でも農地所有者の様々な事情により農地の耕作放棄が進んでいます。

違反転用に対しては指導を行い、耕作放棄地に対しては、所有者の意向を確認し、「農地バンク制度」等の活用を助言しています。

今後も市内の農地が有効に利用されるよう活動を行っていきます。



2 「遊休農地解消モデル事業」と「食育」の実践活動

農業委員会では、遊休農地解消モデル事業を実践しています。浅田町・藤枝町・北新町地内の遊休農地を活用して、うるち米・もち米・季節野菜の作付けをし、収穫しています。

収穫した作物の一部は市内保育園・小学校の給食に活用してもらっています。もち米は、市内の保育園に寄贈し、園児のもちつきを支援しています。

また、委員の所有する農地において保育園児とサツマイモや柿の収穫体験を実施し、園児達に収穫の喜びと楽しさを伝えていきます。

今後も遊休農地の活用、食育事業を継続し、農や食の大切さを若い世代に伝えていきたいと思っています。



もちつき



柿の収穫体験



ふかし芋試食



さつまいも掘り体験

南部保育園 園長 杉浦 町子
毎年、農業委員さんに招待して頂き、芋掘り、柿取りなど、子どもたちは保育園では経験できないことを楽しませて頂いています。畑の中で食べたふかし芋の味は格別で、子どもたちは「おいしい、甘い」と喜んでたくさん食べていました。
このような収穫体験を通して畑で採れる作物の成長や、いろいろな野菜・果物の種類、作物を育てる大変さにも目を向けることで食の大切さを伝えていければと思います。

3 「地域農業振興支援」

戦略作物の生産モデルの実践に取り組んでいます。

昨年はミルキークイーンや赤米、短形自然薯等の栽培モデルの実践をしました。また、愛知県農業総合試験場を訪れ、高温耐性を持つ新種の水稻と新しい直売野菜の栽培について指導を受けました。その成果を実践するために、農業委員会として水稻の試験栽培にも協力していきま



農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、自分で選択した保険料を積立てて、その金額と運用益を将来自分年金として受け取る制度です。国が保障する公的年金であり、もらいはずれはない仕組みです。全額が社会保険料控除の対象になるなど農業者にとってメリットの多い内容となっていますので、老後の生活に備え加入を考えてみませんか？



活躍する

農業の担い手

～浅井喜代人（浅桑園）～

概要

本市と豊田市において3000アールの果樹園でぶどうの果樹経営をしています。雨よけ栽培の導入や、多品種栽培などに取り組んでいます。

果樹園ではぶどうの直売のほか、ぶどうジュースなどの加工品の販売もしています。

生産者から

「美味しいぶどうを旬の美味しい時にお客様へ」という想いで土づくりからこだわって栽培と直売をしています。

年ごとに変化する気候は栽培に影響をあたえ、またお客様のニーズも多様化しています。変わる環境のなかでも常に美味しいうぶどうをお届けできるよう、雨よけハウスなどの施設の導入や栽培技術の向上、新品種やぶどうジュースなどの加工品の導



美沙さん 亮太さん 喜代人さん 千恵子さん

問合せ先

浅桑園

電話 052・838・8670

住所 日進市浅田平子1丁目23